

「比叡平一丁目自主防災会」 第2回活動会員会議 報告

日時：平成21年5月17日（日） 19：30～21：00

場所：山中比叡平公民館（支所）2階大会議室

出席者（組・番地順、敬称略）：谷都満子、福田孝男、影山哲男、籠正二、笈田昭、安倉弘志、大山富美子、諸岡明、猪口深、太田博子、以上10名

会議内容：前回（4月19日）の会議においての班毎の話し合いの結果を各班のメンバーから説明し、それらの情報を全体で共有した。（各班の前回の話し合いの内容は第1回活動会員会議報告に記載した。）同時に、関連する事項について自由に討論した。

主な討議内容は以下のようである。

1. 防災アンケートをとってはどうか。
 - ・ 諸岡氏よりアンケート用紙はある、個人情報を防災会に開示することは可能である、との情報が寄せられた。
 - ・ 阪神淡路大震災のとき、比叡平がどのような状態であったか、アンケートをとるべきである、専門家の話を聞くなど、知識の獲得が必要である。
 - ・ 危険性を見極めが必要である。
2. 消火栓の使用法、防災機材の使い方などの訓練が必要である。
 - ・ 防火用水について、確実な情報が必要である。
 - ・ 雨水貯水槽の設置を推奨する。
 - ・ 大塚製薬比叡山荘では月1回消防訓練を行っており、職員の防災意識高揚に役立っている。
 - ・ 学区全体の防災訓練は今年は9月6日に行なわれる。
3. 日々の声かけ運動や広報活動が必要である。
 - ・ 一丁目防災会のホームページを立ち上げる。情報班長の福田氏と影山氏が担当することになった。
 - ・ 防災マップを作成する。
4. 地震発生時の活動会員の行動をあらかじめ想定し、救出・救護・避難誘導・その他の行動を示すマニュアルの作成を行なう。
 - ・ この点に関しては、笈田が強く希望している。

以上（文責 笈田）